

長野県立大学
後援会

会報

2023.9

Vol.9



CONTENTS

ご挨拶 長野県立大学 後援会会長 齋藤 儀信

まさに完成年度 長野県立大学 学 長 金田一 真澄

特集1 ～コロナ禍明けの寮生～

＊＊全寮制がもどってきた！＊＊

＊＊ながの祇園祭に参加＊＊

特集2 ～海外研修プログラム～

Campus Topics

- 学生表彰
- 令和5年度長野県立大学・大学院入学式
- 学生応援ランチ週間・100円ランチ♥

令和5年度長野県立大学後援会総会

Information

- 令和5年度 後援会役員の紹介
- 後援会事務局より

1	ご挨拶 まさに完成年度	長野県立大学 長野県立大学	後援会会長 学	齋藤 儀信 長	金田一 真澄
2～3	特集1 ～コロナ禍明けの寮生～ **全寮制がもどってきた！** **ながの祇園祭に参加**				
4～5	特集2 ～海外研修プログラム～				
6～7	Campus Topics ● 学生表彰 ● 令和5年度長野県立大学・大学院入学式 ● 学生応援ランチ週間・100円ランチ♥				
8～9	令和5年度長野県立大学後援会総会				
裏表紙	Information ● 令和5年度 後援会役員の紹介 ● 後援会事務局より				

ご挨拶

長野県立大学 後援会会長

齋藤 儀信

会員の皆様におかれましては、日頃より長野県立大学後援会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年度が始まり、多くの困難に直面させられた新型コロナウイルスの影響も過ぎ去りつつある今こそ、皆様との連帯をさらに強め、学生たちの充実した大学生活、そして社会に貢献するリーダーの育成を目指す長野県立大学を支援してまいりたいと考えています。

様々な世界情勢が多くの学生たちに影響を与えるかもしれませんが、私たち後援会は、グローバルな視点を大切に、異なる文化を理解して尊重することを教育の一環とする長野県立大学と共に、学生たちが国際的な視野を育むこと、世界とのつながりを広げることをサポートしていきたいと考えます。

学生たちには自らの意見を形成し、社会に、そして世界に建設的な影響を与える力を身につけてほしいと願うばかりですが、だからこそ、私たち保護者の結束力が学生たちの大学生活を、そして未来をより良いものにしていくと考えます。

皆様と共に保護者の一人として、学生たちの成長を見守り、応援してまいりますのでよろしくお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。



まさに完成年度

長野県立大学 学長

金田一 真澄

いつも長野県立大学に温かなご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。

本学も6年目を迎え、コロナ禍も弱まり、1年生から4年生まで全員が三輪キャンパスに通学できる、初めてのめでたい年となりました。入寮制限が解消され、海外研修プログラムもここにきて遅れを取り戻すことができ、正に完成年度を2年遅れで迎えたようです。

「今年の新入生は礼儀正しく、挨拶もきちんとできて、素晴らしい!」、と寮の管理人ご夫妻も大変感心しています。

また、このところ卒業生の就職率が非常に高かったせいで、メディアにも取り上げられるようになり、昨年は「サンデー毎日」や「AERAムック 就職力で選ぶ大学」に、今年も「東洋経済 本当に強い大学」や「AERAムック (同上)」にと、自慢できる形で掲載されました。これを機会に、本学のブランドがさらに高まることを目指してまいります。

本学は12年前に阿部知事が、長野県に4年制の総合大学を創ることを意図して実現した大学であり、そのため県民の関心も高いものがあります。

また本学では、卒業生に優しい大学を標榜し、今年からホームカミングディを実施したいと考えています。

どうか今後とも一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



特集 1 ～コロナ禍明けの寮生～

＊ ＊全寮制がもどってきた！ ＊ ＊

象山寮きつつ～！！ (#^^#)

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科1年 副寮長 稲垣 典万

一言でいうと長野県立大学の寮は「きつつ～」って感じです。他人と同部屋は大変なイメージがありますが、過ごしてみると案外何とかなるものです。しかし、ご想像の通り問題はあります。相部屋の人には特段、問題を感じていないのですが、基本16人で過ごすユニット内の問題は若干大変です。水回りの問題や、衛生の問題がほとんどですが、話し合えば折り合いはつけられるようになります。また問題が起こっても、相談しあうことでお互いの許せる部分を確認し合えて過ごしやすくなります。一方で、自分が大変な時にこそ仲間が大きな力になります。寮の仲間と遊んだり、話したりするのは楽しく、強く励みになります。人生で自分の空間に誰かがいる状況は僕の人生でこの1年間だけだと思うので貴重な体験だと感じています。1年生ほぼ全員が同じ屋根の下で生活をしていることで初対面の学生でも寮という話題があり、友達作りに便利な側面もあります。みんな「寮きつつ～」ってなりながらも自分なりに楽しみながら寮生活を過ごしている印象です。最初は不安を抱えながらも、少しずつ自立していく感覚を覚えられます。象山寮はそんな寮だと感じています。



ユニット内で協力して作成した炊飯器の利用表

充実した寮生活

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科1年 齊藤 桔梗

長野県立大学の魅力として、一学年は全寮制という取り組みがあります。私は入学するにあたって、寮生活を楽しみにしていました。しかし、コロナが流行していたため、入寮できないのではないかと心配していました。実際に寮生活が無事始まる頃には、楽しさと不安がありました。寮生活は想像以上に楽しく、何より友達が出来ることがうれしいです。また共同生活は、自分自身を高めることもできます。寮生活で心配していたのは、二人一部屋の体制です。集中できないのではないか、迷惑をかけてしまわないかが不安でした。しかし実際には、部屋は集中するときは仕切りをひいて、話したいときは話せる環境です。他にも寮の施設で勉強できる場所があります。また高校生活とは違い、自分の時間が増えるため、遊びに行くこともできます。駅近くのため、交通もスーパーも良いです。安全面は寮父母さんも見守ってくれているため、安全性もとても良いです。RAという困ったときに助けてくれる先輩もいます。このような充実した環境での生活はとても楽しいです。



＊ ＊ながの祇園祭に参加＊ ＊

祇園祭を通して

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科2年 RA 池田 星

7月9日、私は“ながの祇園祭”に参加し、西後町会所業務として、飲み物や軽食などを提供する仕事をさせていただいた。

屋台曳き手の方々が、暑いにも関わらず、楽しそうに笑いながら、汗水流して頑張っている姿を見ると、私まで笑顔になり、長丁場を乗りきる元気をもらった。地域の方々から「ありがとう。頑張ってるね。」と言われると、地域の活動に貢献できているという実感が湧き、とても嬉しかった。また、祇園祭で知り合った、近くで働いている社会人の方とは、祇園祭が終わった後もイベントのお手伝いをしたり、県立大生との交流を図ったりするなど、今でも交流が続いている。

祇園祭を通して交流した地域の方々との新しい出会いに感謝し、大切にしていきたい。そして、これからも地域が開催する行事イベントなどに積極的に参加し、地域の交流の輪を広めていこうと思う。最後に、貴重な経験をさせていただいたことに感謝したい。



特集2 ～海外研修プログラム～

海外経営経済演習の感想

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科3年 朝日華那子

スウェーデンでの研修は、学業面だけでなく、今後の人生においても多大な影響を与えるものであった。事前研修の段階では自分の語学力や日程に不安があり、本当にこの研修で学びを得ることができるのか、楽しむことができるのか不安に思い、あまり気乗りしていなかった。しかし実際の研修は、想像とは全く違うものだった。普段とは違う新鮮で刺激的な環境で英語やビジネスの勉強ができ、積極的な姿勢で研修に取り組むことができた。さらに、現地の人などとの会話で、自分が思っていたよりも会話ができることに気づき、自信を持つことができた。

また、現地の講師の方々や研修先の方の話を聞く中で、異国の地で働くことが目標の一つとなった。今まであまり考えていなかった選択肢が、今回の研修を通して新たに表れてきたことは私の中で最も大きな成果となったと感じる。



イギリス研修 ～経験と学びの連続～

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科2年 保坂 海

“楽しみ”という感情が一番大きかった初日。実際にイギリスに到着してからは自分たちが“海外からの来訪者”という感覚になった。聞こえてくる人々の声、標識や看板、バスの車窓から見える景色、すべてにおいてとても新鮮だった。大学の授業が始まってからは、より英語に触れる時間が多くなった。私たちイギリス組の最終プレゼンは“チームの中で一つプロダクトを考えてポスターを作成して発表する”というものであった。そのために、自分たちの考えたプロダクトについて街の人にいくつかの質問をして答えてもらうという取り組みをした。やはり最初に声をかけることが難しく、自分の中の恥や不安との葛藤があったが、一度声をかけて質問に答えてもらってからは自信がついた。その後のイギリスの生活の中でもこの経験のおかげで少し自信をもって英語を話せるようになった。二度のビジネス研修やロンドンでの自由行動など、すべての経験が自分のかけがえのない人生のピースになった研修であった。



多くの学びを得ることができた海外研修を終えて

健康発達学部食健康学科2年 金谷 理来

アメリカで過ごした2週間はとても有意義な時間となった。アメリカでは大学食堂・大学病院など様々な施設の見学を行い、日本とアメリカの食文化の違いやアメリカの管理栄養士の活動内容について、身を持って学ぶことができた。特に印象に残ったのはアレルギー対応食やベジタリアンのための代替食品など食事の多様性が広く見られたことだ。文化だけではなく、食の多様性も受け入れられているアメリカに驚いた。また、アメリカにわたしたちと同じように短期留学に来ている韓国の友人も作ることができた。交流会で出会ってから一緒に食事をしたり、お菓子を交換したり、帰国の際は互いに手紙を贈ったりした。国境を越えて人の暖かさを感じることができ、とても嬉しかった。食に関するだけでなく、英語でのコミュニケーションの取り方や生活習慣、人の暖かさなど多くの学びを得ることができた、この海外プログラムを修了できたことを本当に嬉しく思うと共に、携わってくださった先生や現地の方々全ての人に感謝したい。この学びを忘れることなく将来の糧にしていきたい。



フィンランド報告

健康発達学部こども学科4年 大野 佑華

フィンランド海外研修プログラムに参加し、自身の保育観が深まり、またフィンランドでの取り組みを日本ではどう置き換えられるか、身近な資源の活用可能性を考える機会にできました。

講義や実習からはフィンランドの先進的な保育のあり方を学びました。森でのスキーや雪遊びといった自然保育に取り組みながら、廃材を利用した遊びや、デジタルデバイスや簡単な操作で動かされるマシンを用いたICT教育の導入などアナログ活動とデジタル活動がバランスよく取り入れられていました。日本では保育の子ども向けデジタル利用がまだ少ない現状にあるからこそ、フィンランドは柔軟にアナログもデジタルも取り入れる様子が先進的だと感じました。

加えて学生の保育への熱量の高さが印象的でした。交流した学生の多くは一度社会に出た経験があるからこそ、より良いフィンランドにしていくための保育を目指し学んでいるというモチベーションを持っていました。今私が目指している保育者という仕事はより良い国にしていくことができる誇らしい仕事であることを再認識できました。

今後もフィンランドでの経験を糧に追求し続けられる保育者を目指し努めています。



Campus Topics

●学生表彰

令和4年度学長賞・学部長賞の受賞者は次の通りです。(五十音順で記載) 学長表彰式は令和5年5月10日に開催されました。(学年は令和4年度時点)

学 長 賞

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

- 1年 大谷 紗衣里・小林 茉央
- 2年 會田 拓馬・西澤 歩乃花・深澤 杏月
- 3年 笹原 美吹・中山 真希

健康発達学部食健康学科

- 1年 佐野 友梨
- 2年 谷口 真唯
- 3年 草場 日和

健康発達学部こども学科

- 1年 匿名希望
- 2年 富田 明日香
- 3年 中山 愛梨



学部長賞

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

- 1年 宇佐見 直緒・大古田 愛美・大崎 琉雅・小林 奈々・齋藤 七生・瀬戸 美羽・土屋 菜々美
土屋 未来・椿山 凜香・徳竹 奈央・徳本 有里・藤橋 凜乃・保坂 桃子・松橋 りりか
宮川 彩音・目黒 麻弥・吉沢 春音
- 2年 新井 和奏・伊藤 理夏・大久保 光騎・大倉 健輔・沖崎 結菜・門脇 廉・土持 万由香
手塚 英里・中尾 彩那・長谷川 千優・原 君香・二木 鈴花・松下 奈央・宮原 華菜子
山中 大空
- 3年 赤羽 達哉・飯野 愛梨・池田 百花・入倉 実南・大前 優香・倉島 慧灯・黒鯛 七海
佐賀 涼輔・佐藤 綾音・富沢 奈津美・林 里佳子・牧野 智慧・割田 千尋

健康発達学部食健康学科

- 1年 今宿 麻衣・下里 明由実・根本 桃果・樋口 優希
- 2年 金田 真希・宮原 志帆
- 3年 坂田 沙弥・津隈 優愛・山崎 嬉良々

健康発達学部こども学科

- 1年 荒井 宙・荒木 唯伽・大谷 心路・小林 葵・高瀬 未来・徳武 千風・野寺 杏花
橋詰 奈津・矢崎 堇・矢野 瑞貴
- 2年 小林 美月・齋藤 香那・酒井 綾音・高木 涼音・高杉 優見
野村 栞里・牧 葉澄
- 3年 倉石 倭子・眞島 奈留美

●令和5年度長野県立大学・大学院入学式

令和5年4月15日（日）10：00より、三輪キャンパス講堂において、令和5年度長野県立大学・大学院の入学式が挙行されました。今年は、コロナによる入構制限を緩和し、新入生のほか保護者1名限定による式参列とし、講堂に入れない保護者の方は、大学食堂で入学式の模様をライブ配信により見守りました。

今年度は、学部生246名、大学院生18名が入学し、新たなスタートをきりました。



講堂の様子



金田一学長式辞

学部生	グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科	173名
	健康発達学部 食健康学科	32名
	こども学科	41名
大学院生	ソーシャル・イノベーション研究科	12名
	健康科学研究科	6名

●学生応援ランチ週間・100円ランチ♡

物価高の影響から厳しい生活を余儀なくされている学生を支援するため、日本学生支援機構の実施する「物価高に対する経済対策支援事業」と本学同窓会：六鈴会を活用し、本学独自の経済支援・学生応援ランチDayを令和5年1月に5回、4月に3回、7月に3回実施いたしました。

大学食堂の1食の価格は通常400円前後ですが、1食100円で昼食ランチを提供し、のべ2,699人の学生に利用してもらいました。大学食堂は、100円ランチを目当てに長蛇の列ができ、食べられない学生が出るほど大賑わいでした。学生からは、多くの感想が寄せられました。

【財源：日本学生支援機構支援金&本学同窓会：六鈴会寄付金】

〈学生からの意見・コメント〉

- ♡ もっとやってくださいー!!!
- ♡ 量が多くてうれしい
- ♡ 100円DAY大好きです！
- ♡ 美味しかった！またお願いします。
- ♡ !! delicious !!
- ♡ デザート付きでうれしいです。
- ♡ 量多くしてほしい！
- ♡ 2限授業だとしんどい！
- ♡ パンも売って！
- ♡ 定番化希望です！
- ♡ 授業をいつも以上に集中できた。
- ♡ 毎日お願いします。
- ♡ ありがとう！助かります



令和5年度長野県立大学後援会総会

●令和5年度長野県立大学後援会総会の報告

令和5年度の後援会総会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症防止のため、web表決での開催となりました。多くの会員のみなさまにご参加いただき、ありがとうございました。

- 第1号議案 令和4年度長野県立大学後援会事業報告（案）
 - 第2号議案 令和4年度長野県立大学後援会収支決算書（案）及び監査報告
 - 第3号議案 令和5年度長野県立大学後援会事業計画（案）
 - 第4号議案 令和5年度長野県立大学後援会収支予算書（案）
 - 第5号議案 令和5年度役員を選出
- 以上の議案がすべて承認されました。

令和4年度長野県立大学後援会事業報告

予 算 項 目	実施時期	事 業 内 容
会 議 費	6 月	後援会総会、理事会開催
事 務 費	5 月～3 月	後援会費振込依頼 総会案内、会報発送作業補助謝礼
広 報 費	9 月、3 月	後援会会報第7号、第8号発行
サークル活動助成費	7 月～3 月	公認サークル44団体中15団体及びサークル本部会へ活動費を助成 ※感染拡大防止計画書を提出・許可されたサークル活動等を助成
学生会活動助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業なし
ボランティア活動助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業なし
学園祭助成費	10月	学園祭Fun2022実施に対し、学園祭実行委員会へ助成
その他自主活動助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業なし
寮生交流活動援助費	10月	1年生交流会の実施費用を助成
寮祭助成費	2 月	寮祭を実施（@セントラルスクウェア、R-DEPOT）し、費用の一部を助成
教育環境整備支援費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業なし
キャリアアップ助成費		コロナ禍による活動制限のため支出を伴う該当事業なし
福利厚生備品助成費	4 月～3 月	信濃毎日新聞及び市民新聞の購入（寮）、図書館へ174冊の図書を寄贈
卒業生記念品	3 月	卒業生へ記念品を贈呈

令和4年度長野県立大学後援会収支決算書

収入決算額 25,810,190円
 支出決算額 4,834,263円
 差引残額 20,975,927円（次年度へ繰越）

◎収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備 考
会 費	8,448,000	7,800,000	△ 648,000	40,000円×195人分
繰 越 金	18,009,977	18,009,977	0	
諸 収 入	23	213	190	預金利息213円
収入の合計	26,458,000	25,810,190	△ 647,810	

◎支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	差引増減(B-A)	備 考
総 務 費	940,000	714,968	△ 225,032	
会 議 費	40,000	23,030	△ 16,970	web総会、理事会（1回）
事 務 費	500,000	479,858	△ 20,142	郵送切手代、入学式及び卒業式生花代
広 報 費	400,000	212,080	△ 187,920	会報第7号、第8号発行
事 業 費	9,950,000	4,119,295	△ 5,830,705	
学生自主活動促進費	5,650,000	2,037,809	△ 3,612,191	
サークル活動助成費	2,700,000	552,809	△ 2,147,191	公認サークル44団体中15団体及びサークル本部会へ活動費を助成
学生会活動助成費	200,000	0	△ 200,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動なし
ボランティア活動助成費	250,000	0	△ 250,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動なし
学園祭助成費	2,000,000	1,485,000	△ 515,000	学園祭実行委員会へ助成
その他自主活動助成費	500,000	0	△ 500,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動なし
学生寮活動促進費	2,000,000	752,180	△ 1,247,820	
寮生交流活動援助費	500,000	279,049	△ 220,951	
寮祭助成費	500,000	473,131	△ 26,869	
教育環境整備支援費	1,000,000	0	△ 1,000,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動なし
キャリアアップ助成費	650,000	0	△ 650,000	コロナ禍による活動制限のため該当活動なし
福利厚生備品助成費	650,000	332,926	△ 317,074	新聞2紙（寮）、寄贈図書（174冊）
卒業生記念品	1,000,000	996,380	△ 3,620	記念品の購入
支出の合計	10,890,000	4,834,263	△ 6,055,737	
予 備 費	15,568,000	0	△ 15,568,000	
翌期繰越	0	20,975,927	20,975,927	
総 計	26,458,000	25,810,190	△ 647,810	

令和5年度長野県立大学後援会事業計画

予 算 項 目	実施時期	事 業 内 容
会 議 費	6 月、11月	後援会総会、理事会開催
事 務 費	通年	事務運営に係る消耗品の購入、郵便物の発送、学生アルバイトの謝金等
広 報 費	9 月、3 月	後援会会報第9号、第10号発行
サークル活動助成費	通年	公認サークル及びサークル本部会の活動費を助成 公認サークル：40団体（5月末時点）
学生会活動助成費	通年	全学的学生組織による活動への助成
ボランティア活動助成費	通年	サービスラーニングへの参加に係る交通費を助成
学園祭助成費	10月	学園祭「Fun2023」実施のため、学園祭実行委員会への助成
その他自主活動助成費	通年	学生によるその他自主活動への助成
寮生交流活動助成費	通年	全1年生を対象とした交流活動等の実施費用を助成
寮祭助成費	2 月	寮祭の実施費用を助成
教育環境整備支援費	通年	教育的効果の向上のための寮内環境整備事業を支援
キャリアアップ助成費	通年	インターンシップ参加等のキャリア形成費の助成、会員向け就活情報セミナー実施等による支援
福利厚生備品助成費	通年	寮の新聞の購入、寄贈図書購入、学生食堂の支援等による福利厚生者の拡充
卒業生記念品	3 月	卒業生へ記念品を贈呈

令和5年度長野県立大学後援会収支予算書

収入予算額 28,816,127円

支出予算額 9,840,000円

予備費総額 18,976,127円

◎収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A－B)	備 考
会 費	7,840,000	8,448,000	△ 608,000	40,000円×246人分×0.8
繰 越 金	20,975,927	18,009,977	2,965,950	
諸 収 入	200	23	177	預金利息
収 入 の 合 計	28,816,127	26,458,000	2,358,127	

◎支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引増減(A－B)	備 考
総 務 費	940,000	940,000	0	
会 議 費	40,000	40,000	0	理事会等
事 務 費	500,000	500,000	0	事務用品、郵送・切手、アルバイト謝金、入学・卒業式生花代 等
広 報 費	400,000	400,000	0	会報2回発行（9月・3月）
事 業 費	8,900,000	9,950,000	△ 1,050,000	
学生自主活動促進費	4,650,000	5,650,000	△ 1,000,000	
サークル活動助成費	2,000,000	2,700,000	△ 700,000	公認サークル及びサークル本部会への活動助成 ※
学生会活動助成費	200,000	200,000	0	
ボランティア活動助成費	150,000	250,000	△ 100,000	サービスラーニング参加交通費助成 ※
学園祭助成費	2,000,000	2,000,000	0	
その他自主活動助成費	300,000	500,000	△ 200,000	
学生寮活動促進費	1,750,000	2,000,000	△ 250,000	全1年生を対象
寮生交流活動助成費	500,000	500,000	0	
寮祭助成費	500,000	500,000	0	
教育環境整備支援費	750,000	1,000,000	△ 250,000	寮における教育環境整備支援 ※
キャリアアップ助成費	500,000	650,000	△ 150,000	学生のキャリア支援、会員向け就活情報セミナー等実施費用
福利厚生備品助成費	800,000	650,000	150,000	新聞代、図書寄贈、福利厚生事業実施 ※
卒業生記念品	1,200,000	1,000,000	200,000	卒業記念品代 @4,000円×約250人、手つけ袋作成費用 ※
支 出 の 合 計	9,840,000	10,890,000	△ 1,050,000	
予 備 費 I	6,976,127	15,568,000	△ 8,591,873	※
予 備 費 II	12,000,000	0	12,000,000	繰越すべき会費分の相当額 ※
総 計	28,816,127	26,458,000	2,358,127	

※1 過年度の実績を踏まえ、複数の事業費を減額しました。

※2 福利厚生拡充事業の実施を検討することとし、福利厚生備品助成費を増額しました。

※3 繰越すべき会費分の相当額を予備費Ⅱとし、余剰部分を予備費Ⅰとしました。

議案に係る主な質問等（抜粋）

Q：令和5年度予算書の繰越金額と、令和4年度決算書の残額は同額でなければならないのではないか(12万円ほど差異がある)。

A：事務局の誤りです。お詫びして訂正申し上げます。令和5年度予算書における正しい繰越金額は20,975,927円、収入の合計額は28,816,127円となり、これに伴い支出の部の予備費Ⅰの額が6,976,127円となります。同様のミスのないよう努めて参ります。※上記資料は訂正後のものとなります。

Q：予備費（本来の予算残額）は今後こういった目的で使用されるのか。

A：学生の福利厚生その他後援会の目的に沿った単年度での支出や積立てでの大きな支出などが考えられますが、用途の決定には至っていません。これからも検討を重ねてまいります。

Q：繰越すべき会費分の相当額が1,200万円の具体的根拠を教えてください。

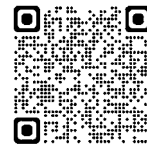
A：本会会費（事業原資）は4万円を加入時にのみ納入いただいています。これはおよそ、在学中毎年1万円が執行（受益）されると見込んでいます。従って、新入生約200人は来年度以降3万円（≒600万円）、2年生約200人は来年度以降2万円（≒400万円）、3年生約200人は来年度1万円（≒200万円）執行すると考えられますので、これらの額は極力繰越す必要があると考えます。なお、標準的な単年度予算は会員数約800人×1万円≒800万円程度と考えられます。

Q：公認サークル29団体に活動費を助成しなかった理由が知りたい。

A：活動費の助成は、公認サークルからの申し出に基づき、支出実績に対する実費精算の形で行われています。助成のなかった29団体は、精算できる支出を伴う活動がなかった、又は活動自体ができなかったものと考えられます。

詳細は、長野県立大学のHPに掲載してありますのでご覧ください。

<https://www.u-nagano.ac.jp/news/r5kouenkaisoukaihoukoku/>



Information

●令和5年度 後援会役員の紹介(カッコ内は学生の所属学科)

新しいメンバーを加え、今年度もスタートいたしました。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

会 長	齋藤 儀信	(グローバルマネジメント学科)
副会長	網代 隆雄	(グローバルマネジメント学科)
理 事	小林 裕美	(食健康学科)
理 事	西川 善真	(グローバルマネジメント学科)
監 事	荒井 恵子	(グローバルマネジメント学科)
監 事	齋藤 要一	(こども学科)

●後援会事務局より

学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務第一係 kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪 8丁目49番地 7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

